

# 2024 年度築理会定期総会次第

2024.5.25

【総 会】 14：00～14：50

1. 挨拶 会長 石橋敦之
2. 議長選任
3. 議事審議
  - 第 1 号議案 2023 年度活動報告 事務局長 河村享一
  - 第 2 号議案 2023 年度決算報告と監査報告 会計 栢木まどか
  - 第 3 号議案 会則の改定について-学生会員の設立- 企画総務委員長 近藤剛啓
  - 第 4 号議案 2024 年度活動計画と役員 会長 石橋敦之
  - 第 5 号議案 2024 年度予算 会長 石橋敦之

【講演会】 15：00～16：30

進 行： 安達 功

講演者：戸梶 大 氏（1996 年卒） 墨田区都市計画部建築指導課課長

題 目：「墨田区におけるファシリティマネジメントの取組み」

【懇親会】 17：00～19：30 （会場は P O R T A 神楽坂 6 階理窓会倶楽部）

進 行： 天神良久・三浦博範

- ・ 築理会賞受賞者プレゼンテーション 3 名
  - 卒業設計
  - 鶴岡 千里 君「旅人の足跡」
  - 高橋 武雄 君「ステーションスクエアと祈りの場 都会のお寺を再び人の集まる場所にするための一つの提案」
- 論 文
- 濱田 凧 君 「軽鋼構造におけるフラット接合工法の成立性と力学的特性の基礎的研究 一様引張応力を受けるフラット継手の応力伝達に関する実験的検討」
- ・ 2023 年度りぼん活動の発表と 2024 年度りぼん委員の紹介
- ・ 会員 D B 入力システムの紹介

## 2023年度活動報告

新体制の会長と委員長・事務局長を中心に、常任幹事他の皆さまの協力の元、DBの再構築とクラウド化、学生会員制度の具体的検討、JIA 新宿地域会との共催の学生コンペの3つの事案に加え、例年通りの様々な活動を行いました。

1. 2023.5.27 総会開催（工学部建築学科創設60周年記念行事を同時開催）
  - ・役員改選／新会長：石橋敦之と副会長（4名）事務局長、監査役、常任幹事の承認
  - ・データベースとWeb名簿について本格稼働の承認を受ける。
  - ・建築学科との共同宣言 学科：今本啓一学科主任＋石橋敦之築理会会長
2. 2023.8.15～ JIA 新宿区地域会共催、学生対象の「新宿みらいアイデアコンペ」を開催
  - ・タイトル：粋なお江戸の坂の街／神楽坂のはじまりをデザインする
  - ・0816 登録開始、1024 審査会（相田武文委員長＋区内大学建築学科教授4名、他2名）
  - ・1217 表彰式にて開催、最優秀賞＋優秀賞4点
3. 2023.10 会報誌の発行（秋号）
  - ・総会と工学部建築学科創設60周年記念行事の報告
  - ・新体制の紹介の掲載 他
4. 2023.10.29 第18回理科大ホームカミングデーの参加
  - ・3作品／2022年築理会受賞作品 吉田周知君、阿嶋浩君  
川辺直哉氏（1994年卒）の寄居南口駅前拠点施設／の出版
  - ・クロストーク（坂牛教授＋川辺直哉氏）、ミニ講演会（宇野求教授）の開催
  - ・ライブ映像の配信
5. 2023.11.25 2023.先輩（学生）と語る -変容の時代をどう生きる？- の開催
  - ・ファシリテーター：下野恵理子さん他、7名の卒業生がパネラーで参加
  - ・今年度より、在校3年生の授業のカリキュラムに組み込まれた。
6. りぼん発行の援助
  - ・築理会で100部購入、協賛企業への声掛け
  - ・2023.11.30 第18号発刊
7. 2024.1.11 野田建築会との合同新年会開催
  - ・参加者 約60名の参加
  - ・三輪バンド“Sunny Side Top”の演奏
  - ・りぼん 第18号の配布
8. 築理会賞（工学部・工学部夜間主社会人コース）作品各2点、論文各2点の選出
  - ・0318 卒業式にて、賞状と賞品を授与
9. 会員DBのクラウド化とWeb名簿について

- ・個人情報保護に関する議論と内容の見直し。Web名簿の運用開始時期を延伸（2024 秋を予定）
  - ・2024.03.30 より会員自身による会員情報の直接入力開始
  - ・会報誌春号にて、個人コードと初期パスワードを発行
10. 学生会員制度導入の具体的な検討
- ・導入目的の再確認
  - ・会則変更（案）の作成 → 第3号議案
11. 常務幹事会（6.9.12.3月、計4回）を開催（2023年度はリアル+Webで開催）
- ・委員長と副委員長を中心に、各委員会間の調整を図るための連絡会議（6回）を開催
12. フューチャーフォーラムの開催（上記会議終了後）
- ・07/11 下野恵理子さん 国土交通省 2013年卒
  - ・09/13 吉田和弘さん Rundfunkredakteur 2013年卒
  - ・10/11 岡崎絢さん+金沢将さん / Lenz Design
  - ・11/15 眞田 峻輔さん SANAWO/さなを
13. その他
- ・ホームページ・Facebook への情報発信
  - ・メールマガジンの休止（個人情報保護の観点から）

2023 年度決算報告と監査報告

【決算報告】

2023 年度の予算は、毎年安定しない会費納入の中、寄付金を多く呼びかけることで全体収入を 2022 年度より約 420 千円増の 2,200 千円としてご承認を頂きました。結果として寄付金収入は 2022 年度の実績より約 300 千円の増でしたが、反対に会費収入は 2022 年度の実績より 500 千円強の減となり、総収入は予算に対し約 440 千円の減収となりました。会費納入者数については、231 名から 158 名で 73 名の減です。

支出については、会員データベースのクラウド化や移行費などの新規項目は予算通りの金額 935 千円でしたが、検討中の事務外注費とメールマガジンの中断などの未消化分があり、全体としての総支出は予算に対して約 235 千円の残額です。

予算に対してのトータルな金額は、209,099 円の赤字となりました。

繰越金につきましては、2023 年度の予算時点で、4,624,129 円から 3,769,129 円への減少でご承認頂いておりましたが、上記年度赤字分を含めて、3,560,030 円の繰越金となります。

金額の詳細については別紙の決算報告書の通りです。

【監査報告】

2023 年度の会計監査につきまして、5 月 20 日 12:45~14:00、葛飾キャンパス栢木研究室にて、石橋会長立会いのもと、会計：栢木・崎山さんから説明を受けました。会計内容、決算報告書共に相違ないことを確認いたしましたので、ご報告いたします。

本日所用のため本総会に出席できませんので書面でのご報告とさせていただきます。

2024 年 5 月 20 日

築理会 監査役

三輪 富成

第2号議案

2023年度(2023.4.1~2024.3.31) 築理会決算報告

2024年5月25日 会計：栢木・崎山

■ 収入の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	
前年度繰越金			4,624,129
築理会会費		891,500	(2022年度実績1,404,500円)
		493,500	正会員@3,500円×141名
		390,000	終身会員@30,000円×13名
		8,000	新規会員@2,000円×4名
寄付金		534,500	(2022年度実績は233,000円)
広告収入	会報	308,000	
その他		4	銀行利息
余剰金		26,267	懇親会残金(総会・新年会)
収入総計		1,760,271	-444,729円(2023年の予算対比)
総収入			6,384,400

■ 支出の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	備考
会報	春号	1,284,646	
	秋号	232,155	
ホームページ維持費+更新費		73,590	維持費 66,000
メールマガジンシステム費		0	メールマガジンは休止中
会員データベース移行費		770,000	
デジタル名簿システム開発費			
データベース維持費		165,000	サーバー使用料含む
事務費		35,200	HCD謝礼、広告費含む
運営		87,901	会場費・オンラインサービス利用費
築理会賞		40,000	(2022年度実績と同額)
りぼん支援		100,000	(2022年度実績と同額)
振込手数料		35,878	
支出総計		2,824,370	-235,630円(2023年度の予算対比)
繰越金			3,560,030
総支出			6,384,400
本年度収支		-1,064,099	-209,099円(2023年度の予算対比)

上記の通り2023年度の決算報告を致します

2024年 5月 20日

築理会会長 石橋敦之



2023年度決算書について監査の結果、相違ないことを確認しました

2024年 5月 20日

築理会監査役 三輪富成



## 第3号議案

### 会則の改定について－学生会員の設立－

会の成長と発展を支えるため、建築学科との共同宣言の一環として、学生会員制度の導入を提案します。

#### 【目的】

- ① 築理会（卒業生）と在学生の更なる交流を促進する。
- ② 在学中に築理会活動を知り、参加することで、卒業後の会への一層の参画を促す。
- ③ 秋より運用開始予定の Web 名簿（本人承諾の内容のみ）の閲覧など、卒業生の情報の提供を行う。

#### 【骨子】

1. 会員区分に学生会員を加える。
2. 東京理科大学工学部建築学科を卒業していない工学研究科の在学生も学生会員とする。
3. 学生会員は、会費納入の義務を負わない。
4. 学生会員は、総会の議決権等を持たない。（6条規定の会員ではないため）
5. 東京理科大学工学部建築学科を卒業した工学研究科の在学生は会費納入を免除する。
6. 工学研究科の在学生は、総会の議決権を持たない。（6条規定の会員ではないため）

会則の改定内容については別紙参照。

現 行	改正（案）
<p><b>第 2 章 会員</b></p> <p>第 4 条（会員区分・資格）</p> <p>本会は普通会員、特別会員をもって構成し、その資格は次に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 普通会員：東京理科大学工学部 1 部、2 部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース卒業生並びに東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。</li> <li>2) 特別会員：普通会員以外の現教職員、元教職員で本会の趣旨に賛同しかつ常任幹事会で承認された者。</li> </ol> <p>第 6 条（義務・権利）</p> <p>普通会員は毎年定められた時に会費を納入する。会費を納入した普通会員は、本会の定める年度の会員としての権利を得る。</p> <p>又、特別会員でも会費を納入すれば本会の定める年度の会員としての権利を得ることができる。</p> <p><b>築理会運営細則</b></p> <p>第 1 条（会費）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年会費は 3,500 円とする。</li> </ol> <p>但し、東京理科大学工学部 1 部、2 部建築学科卒業生の初年度は年会費 2,000 円とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 卒業 30 年を過ぎた普通会員の中で、会費 30,000 円を払った会員は終身会員となり、以降の会費は免除される。</li> </ol> <p>附則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5) この改定は令和 4 年 5 月から施行する。</li> </ol>	<p><b>第 2 章 会員</b></p> <p>第 4 条（会員区分・資格）</p> <p>本会は普通会員、特別会員<b>及び学生会員</b>をもって構成し、その資格は次に定める</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 普通会員：東京理科大学工学部 1 部、2 部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース卒業生並びに東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。</li> <li>2) 特別会員：普通会員以外の現教職員、元教職員で本会の趣旨に賛同しかつ常任幹事会で承認された者。</li> <li>3) <b>学生会員：東京理科大学工学部建築学科及び建築学科夜間主社会人コース並びに東京理科大学工学部建築学科以外から入学した東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻の在學生</b></li> </ol> <p>第 6 条（義務・権利）</p> <p>普通会員は毎年定められた時に会費を納入する。<b>但し普通会員のうち東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻の在學生は、在学期間中の会費を免除する。</b>会費を納入した普通会員は、本会の定める年度の会員としての権利を得る。</p> <p>又、特別会員、<b>上記在學生</b>でも会費を納入すれば本会の定める年度の会員としての権利を得ることができる。</p> <p><b>築理会運営細則</b></p> <p>第 1 条（会費）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年会費は 3,500 円とする。</li> </ol> <p>但し、<b>学生会員卒業生</b>の初年度は年会費 2,000 円とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 卒業 30 年を過ぎた普通会員の中で、会費 30,000 円を払った会員は終身会員となり、以降の会費は免除し、<b>本会の定める年度の会員としての権利を得る。</b></li> </ol> <p>附則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6) <b>この改定は令和 6 年 5 月から施行する。</b></li> </ol>

## 第 4 号議案

### 2024 年度活動計画と役員

学生会員制度の導入に伴い、学科との連携をより一層深めるとともに、在学生にも築理会活動への参加を促します。クラウド化した会員情報データベースの個人入力を呼びかけ、会員情報の再構築を目指すと共に、秋より Web 名簿の運用開始を目指します。現在中断しているメールマガジンの再開など、会の活性化と会員同士の絆・ネットワークがより一層深まることを目指します。

1. Web 名簿システム運用を開始する。
  2. 事務局作業の一部について外部委託を検討（継続課題）する。
  3. 会費の納入を広く呼びかけ、また会費納入方法の検討を行う。財務の安定化を図るとともに、活発な会員活動への支援体制を築く。
  4. 情報広報委員会は、会報誌（春・秋）・ホームページ・Facebook なども利用して、会員の輪を広げてゆく。休止中のメルマガの再開を目指す。また、会員の活動発表の場としてフューチャーフォーラムを開催する。
  5. 活性化委員会は、各種イベント（HCD、新年会等）に加え、地域会や企業内の会員活動を顕在化して支援してゆく。また会員のグループ活動なども広めてゆく。
  6. 学科連携委員会は、昨年採択した大学との「共同宣言」をもとに、学生会員制度の周知や軌道に乗っているリボン支援や OB・OG 交流会“先輩と語る”などに加えて、新しい企画や社会人コースとの連携なども模索する。
  7. 昨年立ち上げた、JIA 新宿地域会共催の学生コンペを継続開催する。
- ・ 2023 年度に引き続き、4 つの委員会と事務局で組織する。
    - 企画総務委員長を近藤剛啓（留任）
    - 情報広報委員長を安達 功（留任）
    - 活性化委員長を天神良久（留任）
    - 学科連携委員長を増村清人（留任）
    - 事務局長を河村享一（留任）上記 5 名を副会長とする。
  - ・ 常任幹事は、新規の 5 名を加え、47 名とする。別紙 2024 年度役員・常任幹事リスト参照

（案）

役員他		常任幹事		幹事
会長	石橋敦之/81	長尾大介/72	中井崇義/04	古池廣行/70
企画総務委員長	近藤剛啓/84	飯山道久/74	虎尾亮太/05	野田正治/70
副委員長	細井友治/83	上原伸一/75	杉本由美子/05	田中治/76
副委員長	三浦博範/98	荒井眞一郎/76	河内悠磨/10	武長龍二/76
情報・広報委員長	安達 功/86	稲垣雅子/79	伊藤孝仁/10	安藤泰/79
副委員長	横井千秋/83	廣谷純弘/80	山崎杏奈/11	馬島亮/79
副委員長	中東壯史/13	入野公男/80	三好隼人/13	高橋潤子/87
活性化委員長	天神良久/82	神谷昌裕/81	下野恵理子/13	郷田桃代/88
副委員長	伊藤学/85	浦山千明/81	大村聡一郎/14	高橋治/89
副委員長	*上條美枝/85	佐藤浩/84	山岸 隆/14	山名善之/90
学科連携委員長	増村清人/81	森 清/85	本山真一郎/16	今本啓一/90
副委員長	常盤純代/95	阿久津好太/88	崎山夏彦/18	伊藤英明/94
副委員長	鈴木敦子/97	*長谷川祥久/90	*丸山峰寛/19	河村良夫/96
事務局長	河村享一/89	熊谷一清/92	阿嶋浩/22	森健士郎/12
副事務局長	栢木まどか/99	*細矢 仁/93		
副事務局長	金沢将/12	*川辺直哉/94		
監査役	三輪富成/73	古藤武彦/95		
顧問	大岩昭之/68			
	林孝夫/69			
	石神一郎/70			
	佐野吉彦/79			
名誉幹事	福田義克/68			
	乙丸勝範/71			

・ 上記委員長と事務局長を副会長に任ずる。  
会長の代理執行者は天神良久とする。

・ 会計/栢木まどか・崎山夏彦

・ 編集委員/安達・近藤・飯山・中東・栢木・大村・丸山

氏名前 \*印 は新任 / 後の数字は卒業年を示す

## 第 5 号議案

### 2024 年度予算

2024 年度の予算は、特別予算支出として、Web 名簿関連と学生会員データ移行などで約 300 千円を計上します。会報誌等、物価上昇で増額も予想される一方、現状の会費収入は低く、かつ不安定です。今回の予算案では、2022 年の収入実績（会費 + 寄付金で 1,600 千円）で組み立てますが、次年度への繰越金は 3,000 千円弱となり、2017 年のレベルまで下がる事をご承認頂きたい。

会の活性化や事務作業の外注、また学生支援などのためにも、毎年どれくらいの収入が必要なのか？またそれを実現するためにはどのようにしたらよいのかを具体的に議論して行く年に行きたいと思っています。

## 2024年度（2024.4.1～2025.3.31） 築理会予算書（案）

2024年5月25日

## ■ 収入の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	
前年度繰越金			3,560,030
築理会会費		1,250,000	(2023年度実績 891,500円)
		630,000	正会員@3,500円×180名
		600,000	終身会員@30,000円×20名
		20,000	新規会員@2,000円×10名
寄付金		350,000	(2023年度実績は534,500円)
広告収入	会報	300,000	
収入総計		1,900,000	
総収入			5,460,030

## ■ 支出の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	備考
会報	春号	1,300,000	
	秋号	250,000	
ホームページ維持費		66,000	維持費 66,000
メールマガジンシステム費		45,000	
Web名簿、DB関連外注費		310,000	Web名簿開発費：220,000円 2023卒業生対応費：24,000円 学生会員データ移行費：66,000円
データベース維持費		176,000	サーバー使用料含む
事務費		50,000	H C D謝礼、広告費含む
運営		250,000	会場費・オンラインサービス利用費
築理会賞		40,000	(2023年度実績と同額)
りぼん支援		100,000	(2023年度実績と同額)
振込手数料		35,000	
支出総計		2,622,000	
繰越金			2,838,030
総支出			5,460,030

# 会費および繰越金推移資料

2024.05.25

## 会費収入

年度	普通	新卒	終身	人数計	金額計
2011	274	21	14	309	¥1,421,000
2012	253	8	5	266	¥1,051,500
2013	243	6	23	272	¥1,552,500
2014	227	5	16	248	¥1,284,500
2015	222	13	13	248	¥1,193,000
2016	144	6	13	163	¥906,000
2017	219	15	27	261	¥1,606,500
2018	324	6	24	354	¥1,866,000
2019	119	7	18	144	¥970,500
2020	235	6	20	261	¥1,434,500
2021	183	5	19	207	¥1,220,500
2022	199	9	23	231	¥1,404,500
2023	141	4	13	158	¥891,500

## 繰越金推移

年度	総収入	総支出	収支	繰越金	備考
2011				¥2,616,688	
2012	¥1,470,535	¥1,640,871	(¥170,336)	¥2,446,352	
2013	¥2,532,494	¥1,876,146	¥656,348	¥3,102,700	
2014	¥2,285,623	¥2,532,149	(¥246,526)	¥2,856,174	名簿発行
2015	¥1,662,072	¥1,882,415	(¥220,343)	¥2,635,831	会報カラー化
2016	¥1,283,292	¥1,897,960	(¥614,668)	¥2,021,163	
2017	¥3,622,543	¥2,928,920	¥693,623	¥2,714,786	名簿発行
2018	¥2,625,667	¥2,072,831	¥552,836	¥3,267,622	
2019	¥1,503,180	¥1,454,838	¥48,342	¥3,315,964	
2020	¥2,316,403	¥1,794,753	¥521,650	¥3,837,614	
2021	¥2,137,706	¥1,507,094	¥630,612	¥4,468,226	
2022	¥2,913,284	¥2,775,081	¥138,203	¥4,606,429	名簿発行
2023	¥1,907,771	¥2,971,370	(¥1,063,599)	¥3,542,830	DB整備

